

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	千葉県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	千葉県文化遺産活用活性化事業実施計画	【計画の改善時期】 平成30年度	
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
千葉県教育振興基本計画（第1期：平成22～26年度・第2期：平成27～31年度）を踏まえ、次の事業を実施する。 「地域の文化遺産を活かした地域活性化事業」 地域固有の建造物等の保全活用を促し、地域の個性（伝統文化）を活かしたまちづくりや景観形成を推進する。また、民俗芸能など無形民俗文化財の継承を支援する。 千葉県では千葉県教育振興基本計画で「ちば文化の継承と新たな創造」を施策のひとつにあげ、その取り組みとして、文化にふれ親しむ環境づくりと文化財の保存・継承を2つの柱に据えている。 この「ちば文化の継承と新たな創造」を実現するためのひとつの取り組みとして当事業を実施するものであり、実施計画期間は教育振興基本計画の終期である平成31年度までと考え、無形民俗文化財の活性化と、有形文化財（建造物）の保全・活用に係る事業を実施する。 千葉県無形民俗文化財連絡協議会 1 情報発信・人材育成事業 千葉県民俗文化財マップ作成事業（平成26年度） 2 普及啓発事業 千葉県無形民俗文化財（民俗芸能）上演事業（平成23～27年度） 3 記録作成・調査研究事業 千葉県民俗文化財記録映像作成事業（平成23～31年度） 千葉県建築士会事業計画 1 情報発信・人材育成事業（平成23～31年度） 地域の歴史的建造物の保全・活用に係る専門家育成事業 2 普及啓発事業（平成23～28年度） 地域の歴史的建造物の保全・活用策提案事業 3 記録作成・調査研究事業（平成23～28年度） 歴史的建造物の掘り起こし事業 かずさの国 風あげフェスタ実行委員会事業計画 1 普及啓発事業 かずさの国 風あげフェスタ開催事業（平成30～31年度）			
6 実施体制			
千葉県が、本実施計画に係る指導等を行う。担当課と役割は下記のとおりである。 教育庁教育振興部文化財課：各補助事業における文化財の取り扱い等に関する指導・調整等。 また、補助事業は、次の団体が実施する。 千葉県文化遺産継承実行委員会（委員長：教育庁教育振興部長） 構成団体：千葉県無形民俗文化財連絡協議会 一般社団法人千葉県建築士会 かずさの国 風あげフェスタ実行委員会			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 37,664 千円	平成30年度申請額： 3,246 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
全般的に、本計画の実施により県民の文化遺産に対する意識や関心が向上し、地域の文化遺産の保存と次世代への継承、地域活性化への機運が高まる。また行政と文化財保護団体、民間団体による協力体制の構築が進む。 ①民俗文化財継承の意識が向上する。 県内の伝承される民俗文化財の映像や文字による記録を作成し、それによって歴史的・民俗的背景を理解し、価値を知ることは、民俗文化財継承の意識を高めるために不可欠である。また「かずさの国 風あげフェスタ」の実施により、国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている、端午の節供に子供の成長を願って行われる「大風揚げ」について、県民の関心を高め、他地域に例のない「袖風」「唐人風」を次世代に継承する機運が高まることが期待される。 ②歴史的建造物の保全・活用が促進される。 歴史的建造物の専門家であるヘリテージマネージャーの養成により、県内各地の歴史的建造物が無作為の壊されたり放置されることが防止され、まちづくりや景観形成につなげる体制を築くことができる。			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	「房総の郷土芸能２０１８」 平成３１年１月２６日（土） 民俗芸能公開事業を県交付金・芸術文化振興基金・夢まるふぁんど助成金で実施予定。
事業概要：	「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎公開事業」 平成３０年１０月２７日（土）（予定） 県指定有形文化財の公開事業を県予算で実施予定。
事業概要：	「文化財探検隊」 平成３０年６月２日（土） 県民から参加者を募集し、地域の文化財や名所等を案内する。
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
県内市町村における策定・作成を積極的に進める。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	千葉県教育庁教育振興部文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 1 :	祭礼行事への参加住民数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 1 :	年に一度の十夜行事で念仏踊りを行うこと。		関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 30 人				
設定根拠 1 :	平成29年度に初めて実施する参加者数を20名目標とし、以後年に5名増加を目指す。				
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	0 人	30 人	人	人	人
	0%	100%			
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 2 :	凧あげフェスタに参加する凧保存会会員数		関連事業:	②	
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 88 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 96 人				
設定根拠 2 :	実行委員会を構成する 4 保存会において、毎年 1 名ずつの会員増を目指す。				
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	人	88 人	人	人	人
		0%			
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 3 :	ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数		関連事業:	③	
目標値 3 :	【現状値】 平成 29 年度 92 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 120 人				
設定根拠 3 :	県内54市町村に 2 名以上の活動者数を確保することを目標に、年に14名ずつの増加を目指す。				
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	78 人	92 人	人	人	人
	-50%	0%			

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：		「坂戸の念仏」記録映像作成事業				実施団体：		千葉県無形民俗文化財連絡協議会			
事業区分：		記録作成				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：		「大十夜行事」の記録と念仏踊りの型の記録映像を作成し、また大十夜行事の実施記録、念仏唄の採譜面、大十夜行事に係る歴史資料、また専門的見地からの解説とを掲載した解説書を作成して、次回（33年後）の実施を目標とした基礎資料とすること、また地域内外の住民が当念仏踊りの価値を再認識し、毎年の十夜行事を絶やさず、33年後の大十夜に向けて後世に伝えていく機運を醸成することを目指す。									
評価指標区分：		・祭礼行事への参加住民数						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		年に一度の十夜行事で念仏踊りを行うこと。									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 30 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度						
人	0 人	30 人	人	人	人						
	0%	100%									
事業②：		かずさの国 風あげフェスタ				実施団体：		かずさの国風あげフェスタ実行委員会			
事業区分：		普及啓発				事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 31 年度			
事業概要：		千葉県上総地域に伝わる「節句の大風あげ習俗」を広く周知し、県民の関心を高めて次世代に継承する機運を高めるため、県内の風あげ保存会の競演の形で大風あげ大会を開催する。また、来場者に自由に風あげを楽しんでいただく時間を設ける。									
評価指標区分：		・フェスティバル出演団体の保存会会員数						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		実行委員会を構成する4保存会それぞれで2名ずつの会員増を図る。									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 88 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 96 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度						
人	人	88 人	人	人	人						
		0%									
事業③：		歴史的建造物の保全・活用のための専門家育成カリキュラム				実施団体：		一般社団法人千葉県建築士会			
事業区分：		人材育成				事業期間：		平成 22 年度 ～ 平成 31 年度			
事業概要：		地域の歴史的建造物の保全・活用に係る専門家を育成するための講習会を実施する									
評価指標区分：		・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		県内54市町村に少なくとも2名以上の活動者数を確保する。									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 92 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 120 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度						
人	人	92 人	人	人	人						
		0%									